

NIALL FERGUSON

ニール・ファーガソン

英スコットランド出身、オックスフォード大博士。歴史学者



コンサルタント会社グリーンマントル創業者で、近著に「スクエア・アンド・タワー」。ファーガソン教授は、歴史的に感染症のパンデミック（世界的大流行）は約65回起きており、古代ローマ時代や14世紀のペストは世界の人口の3割の命を奪ったとされる。次に被害が大きかったのは1918～19年のスペイン風邪で、世界の3%（5千万人）が犠牲になった。死亡率で見れば、新型コロナウイルスはこうした事例には及んでいないと主張する。各国の政策実行者は1月に事態を甘くみて、3月までにパニックに陥り、常軌を逸した行動に出た。経済の封鎖と人々の「監禁」は世界経済を壊した。将来の歴史家は、こうした対応を誤りだったと判断を下すのではないか。人類の歴史で新しい病原体を完全に根絶できたのはまれだ。我々は長期戦に備えなくてはならない。新型コロナを巡る中国の対応は、86年のチェルノブイリ原発事故を隠蔽した旧ソ連を思い起こさせた。説明責任も報道の自由もない一党独裁の体制が、自国だけでなく世界にどれだけの惨事をもたらすかを露呈した。民主国家は間違いを犯しても修正が可能だ。独裁は自己修正が利かない。新型コロナ禍は米中間の不信を深め、米国人の中国のイメージも悪化させたと主張する。

ニール・ファーガソンを講演者として招聘されたい方は、
ジャパン・スピーカー・ビューロー
TEL: 03-5778-7641
EMAIL: info@japanspeakerbureau.com
までご連絡下さい。